8 消耗部品の交換方法

日々作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告　消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

⚠ 警告　取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

⚠ 警告　消耗部品は必ず当社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

8-1 ハクリテープの交換

【交換する所】シール機本体のシール受板部

【必要な工具】はさみ

【交換の目安】溶断シールがうまくできない、シールが汚い等

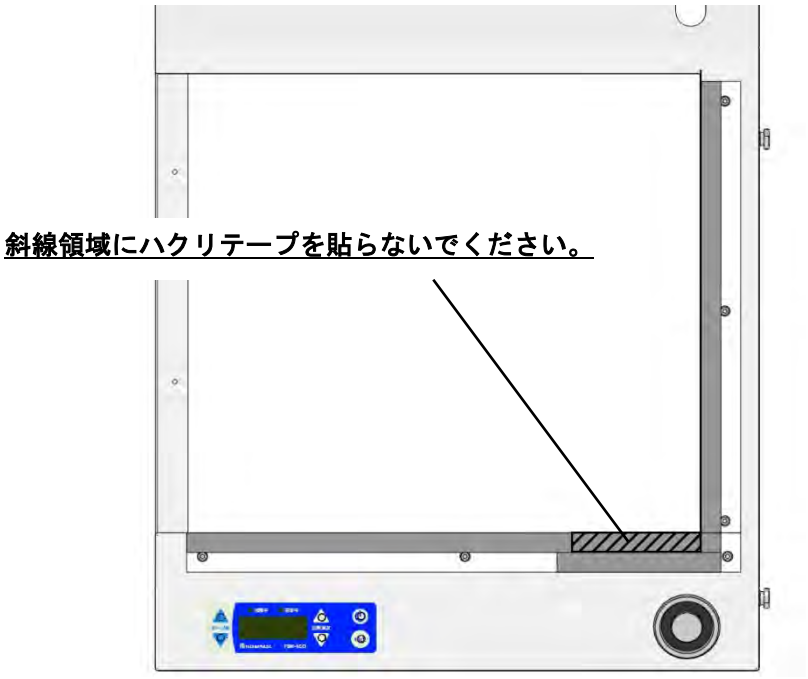
痛んだハクリテープをゆっくり剥がして、シリコンスポンジの表面に付着したテープの粘着のりなどを除去してください。

付属のハクリテープ（15㎜幅）を次の内容に気を付けて貼ってください。

- L型ヒーターの形状に合わせて貼ってください。
- タブシール部にハクリテープを貼らないでください。（下図参照）
- 角の部分でハクリテープが重ならないように気を付けてください。
- 空気が入らないように慎重に貼ってください。

※ハクリテープは単品販売しています。

⚠ 注意　粘着のりが残っている上にハクリテープを貼ると、シール面が均一にならないため、シール性能に悪影響を起こします。



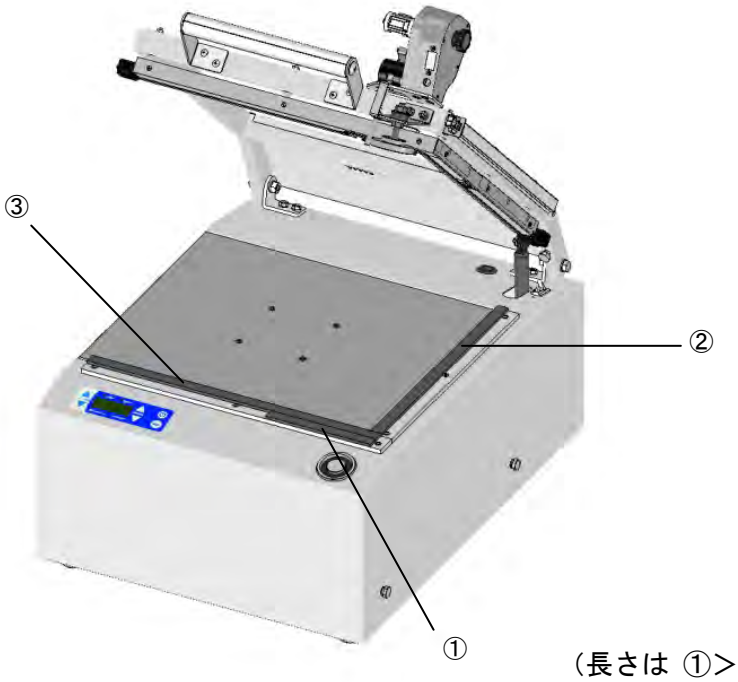
8-2 シリコンスポンジ（黒）の交換

【交換する所】シール機本体のシール受板部
【必要な工具】アルコール（エタノール）
【交換の目安】溶断シールがうまくできない、シールが汚い等

シリコンスポンジをシール受板から取り外して
シール受板に付着した粘着のりをアルコール
（エタノール）などで取り除いてください。
新しいシリコンスポンジをＬ型ヒーターの位置
に合わせて、元あった位置に丁寧に貼り付けて
ください。それぞれの長さが異なるため、下図
の通り、長さを合わせて貼り付けてください。
シリコンスポンジの表面に「ハクリテープの交
換」の要領で貼り付けてください。

※シリコンスポンジ（黒）は単品販売しています。

⚠ 注意 レバーを降ろしたときにシリコンスポンジの中央にヒーターが接触するように位置を合わせてください。位置がずれるとシールできなくなります。



（長さは ①＞②＞③ の順）

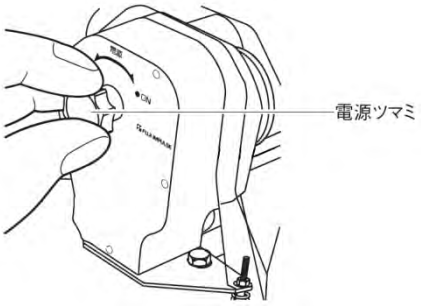
8-3 プリントテープの交換

【交換する所】タブシールユニットのプリントテープ
【必要な工具】はさみ、セロハンテープ
【交換の目安】プリントテープがなくなった

※プリントテープは単品販売しています。

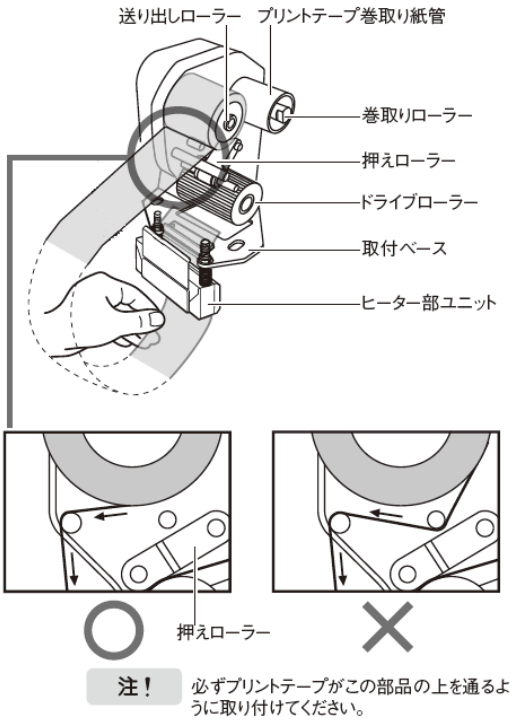
① プリントテープカバーを外してください。

② 電源ツマミを左に回して OFF 状態にすると押さえローラーとドライブローラーの間に隙間ができます。



③ プリントテープ巻取り紙管に巻き取った古いプリントテープはプリントテープ巻取り紙管ごと取り外し、送り出しローラーにあるプリントテープ巻取り紙管は新しいプリントテープの巻取り紙管としてお使いください。

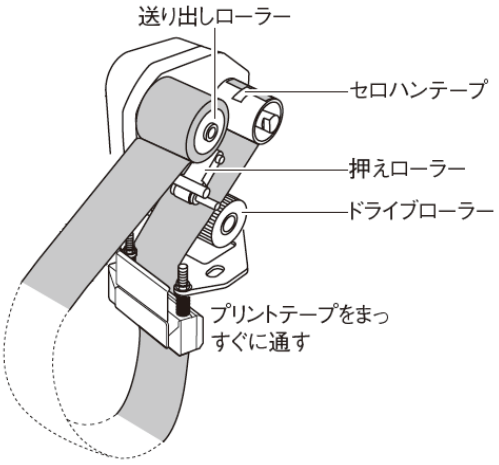
MEMO 購入していただいた時にはプリントテープ巻取り紙管は巻取りローラーに装着しています。



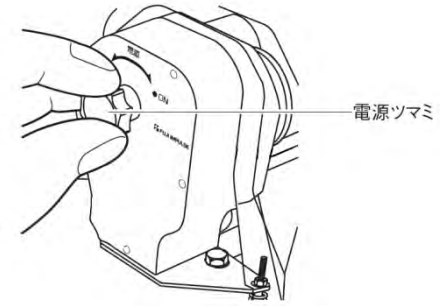
④ プリントテープを送り出しローラーにセットします。

⑤ プリントテープの端をヒーター部ユニットと取付ベースの隙間に通します。プリントテープの光沢がある面がヒーターに当るようにセットしてください。

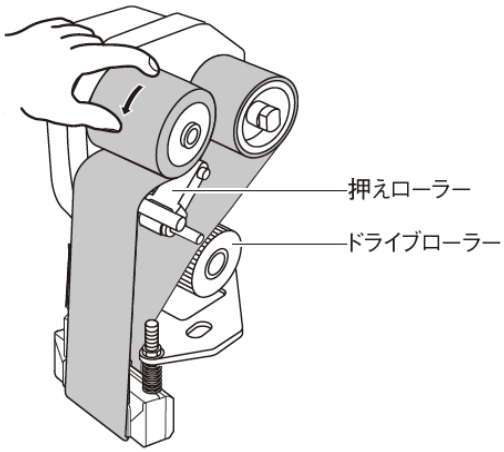
⑥ プリントテープをドライブローラーと押えローラーの隙間にまっすぐに通して、プリントテープの先端をセロハンテープなどでプリントテープ巻取り紙管に貼り付けてください。



⑦ 電源ツマミを右に回すと電源がＯＮになり、プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。



⑧ プリントテープのたるみを手でプリントテープを回して取ってください。



⑨ プリントテープカバーを装着してください。

8-4 センタードライテープの交換

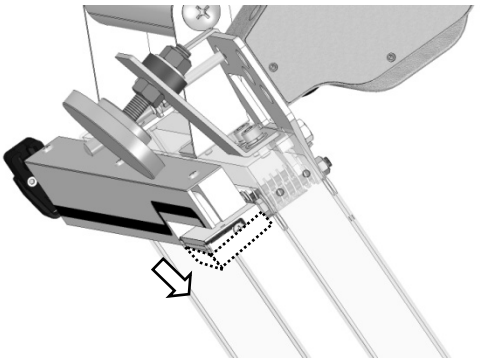
【交換する所】タブシールユニットのヒーター部

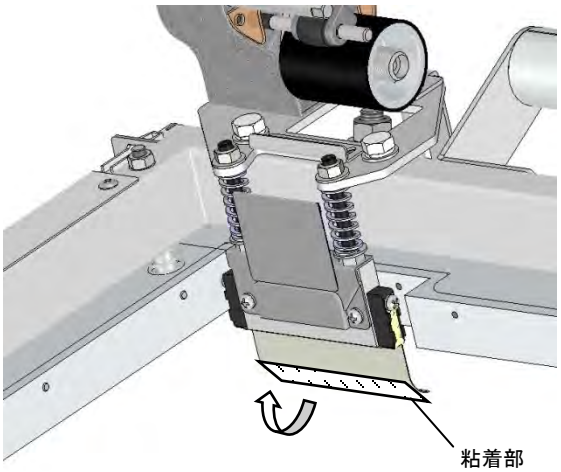
【交換の目安】センタードライテープが破れた、焦げた、タブシールが汚い等

※センタードライテープは単品販売しています。

タブシールユニットのヒーター部を右図のように開いて、痛んだセンタードライテープを剥がしてください。

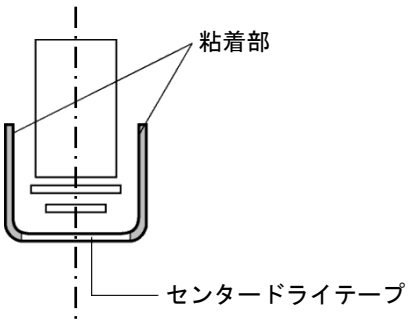
新しいセンタードライテープの粘着のりが付いている片側を手前側に貼付してから奥側を貼付してください。





注！ 貼り替え時の注意

センタードライテープの中心にヒーターが位置するようにセンタードライテープの両サイドを貼り付けてください。センタードライテープにシワがある状態で貼り付けるとシールにもシワ模様が出てしまいます。



8-5 ヒーターの交換（Ｌ型溶断シール）

【交換する所】Ｌ型溶断シール部のヒーター

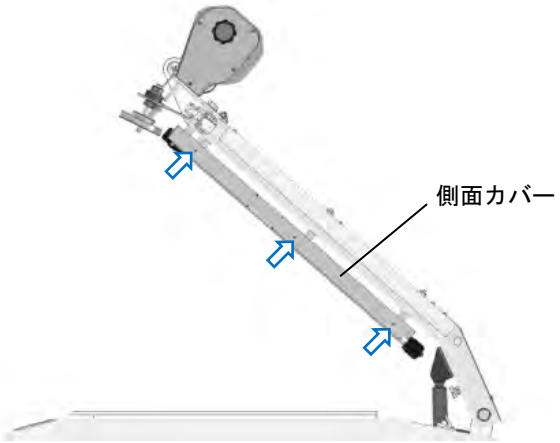
【必要な工具】プラスドライバー

【交換の目安】ヒーターが切れた、溶断シールがうまくできない、シールが汚い等

※Ｌ型ヒーターは単品販売しています。

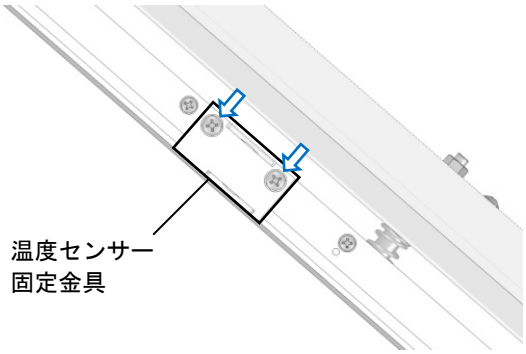
損傷したヒーターの取り外し方

① 右側面のカバーを外します（ビス３本）



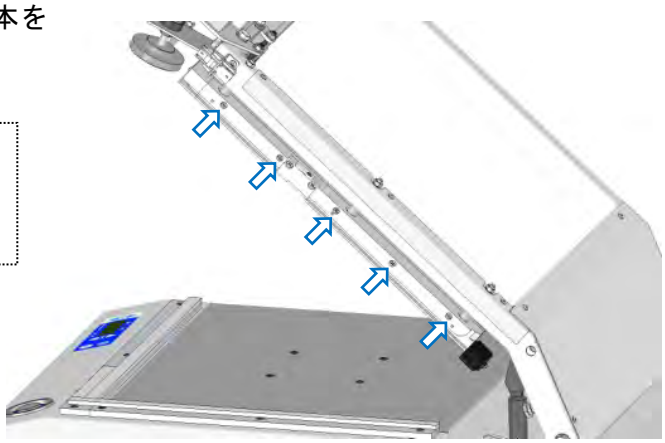
② 温度センサー固定金具を緩めます（ビス２本）

※外さずに緩めるだけにしてください。

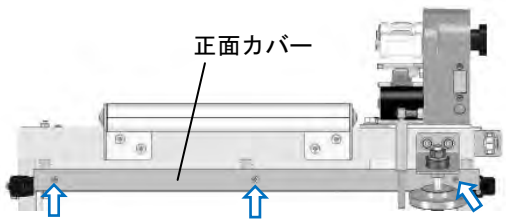


③ 側面のシールバーを固定してあるビス５本を緩めて内側のプレートを外します。

外す際に絶縁ゴムがヒーターにくっついてプレートから剥がれる場合があります。
その場合はプレートの溝に絶縁ゴムをセットしてください。

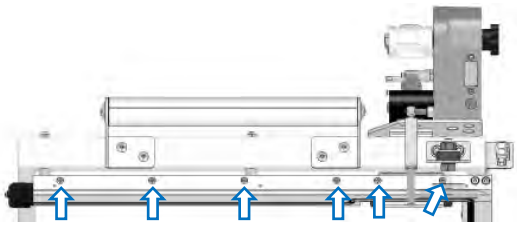


④　正面のカバーを外します（ビス３本）

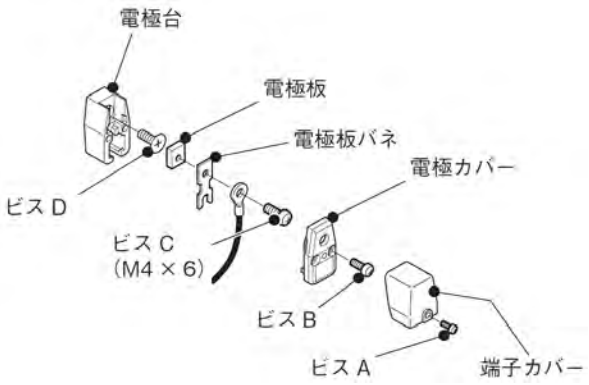


⑤　正面のシールバーを固定してあるビス６本を緩めて内側のプレートを外します。

外す際に絶縁ゴムがヒーターにくっついてプレートから剥がれる場合があります。
その場合はプレートの溝に絶縁ゴムをセットしてください。



ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。



⑥　電極のビスＡを緩めて端子カバーを外します。

⑦　電極カバーのビスＢを緩めてヒーターが引っ張られていない状態にします。
（電極カバーを完全に外さないでください）

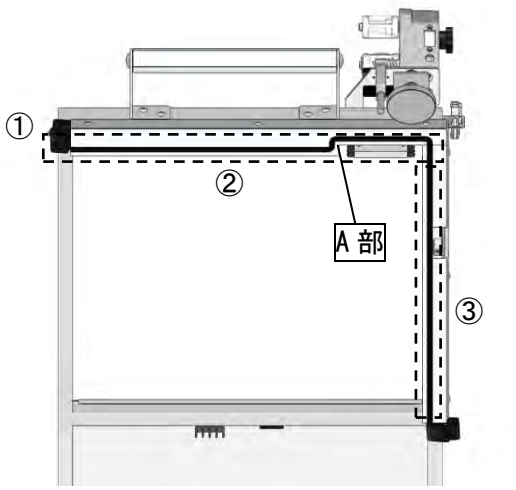
⑧　電極カバーのビスＣを緩めるとヒーターを取り外す事ができます。

⚠ 警告　ビスＣを紛失した場合、Ｍ４×６より長いビスを代用しないでください。
指定サイズより長いビスを使用すると電極台を固定しているビスＤと接触してショートする危険性があります。

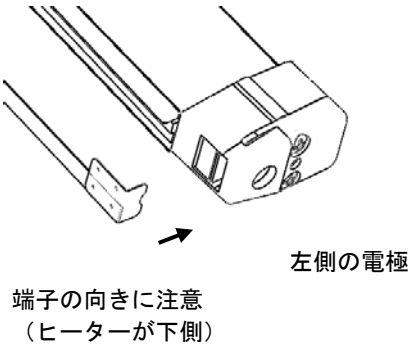
⚠ 注意　ヒーターが絶縁ゴムに密着して外し難い場合があります。
絶縁ゴムが痛まないように慎重に外してください。
損傷するとヒーターとシールバーが接触しショートする危険があります。

新しいヒーターの取り付け方

① まず左側の電極台にヒーターをセットします。電極板と板バネの間にヒーター端子を差込み、電極からヒーターが浮かないように押さえたままヒーター止めビスＣを締めつけて固定します。
（ヒーター端子の向きに注意してください）

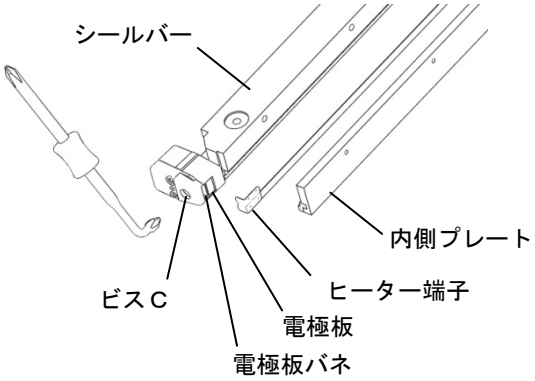


② 次に手前の内側プレートを仮止めした状態でシールバーの形状に合わせて内側プレートの間に挿入します。このとき、Ａ部の形状に合わせてヒーターを曲げながら挿入してください。このときにヒーターを電極台とは逆の方向（右方向）に少し引張りながらセットしてください。



③ 次に右側面のシールバーにも同様にシールバーの形状に合わせてヒーターをセットし、内側のプレートを取り付けてから、奥側の電極に①と同じ要領でヒーター端子を固定します。

⚠ 注意 このときに内側のプレートは仮止めとしてください。ヒーター端子を固定する前に締め付けてしまうとヒーター端子を取り付けられなくなります。

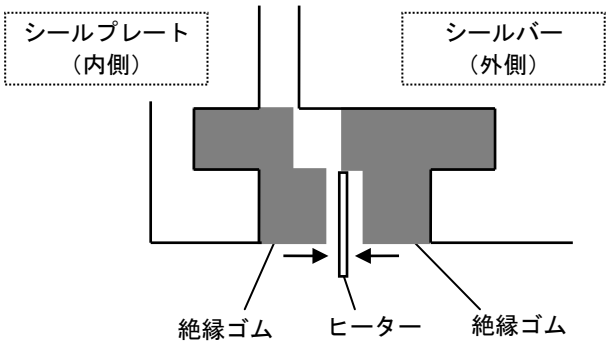


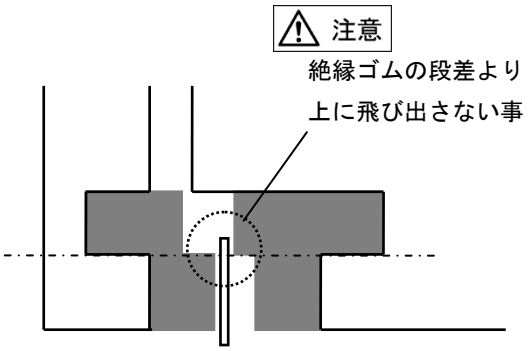
④ ヒーターをシールバーにセットできたら、ヒーターを外したときの逆の要領で、シールバーの締め付け → 温度センサー固定金具の締め付け → カバーの取り付けを行ってください。

⚠ 注意　このときにシールバーの絶縁ゴムが正しくセットされているか、十分確認してヒーターを取り付けてください。

⚠ 注意　ヒーター交換時は絶縁ゴム（黒色）の損傷状態も確認し、必要に応じて交換してください。損傷が激しい場合、ヒーターとシールバーが接触し、ショートする危険性があります。

⚠ 注意　ヒーター止めビスの締め付けが緩いと、ヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。





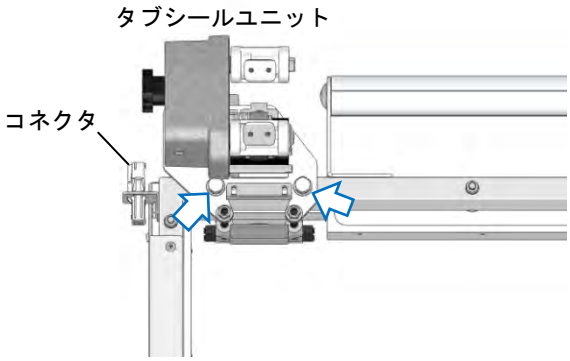
8-6 ヒーターの交換（タブシール）

【交換する所】タブシール部のヒーター

【必要な工具】スパナ、プラスドライバー、はさみ

【交換の目安】ヒーターが切れた、タブシールに凸凹が発生した、シールが汚い等

※タブヒーターは単品販売しています。



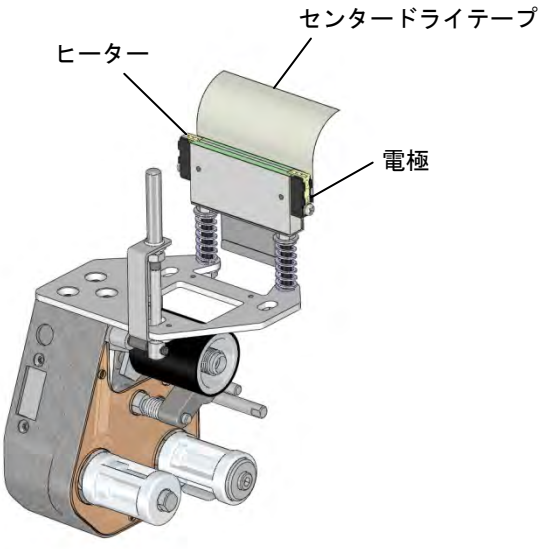
① ヒーター線のコネクタを外します。

② スパナでボルト（２箇所）を外し、タブシールユニットをレバーから取り外します。

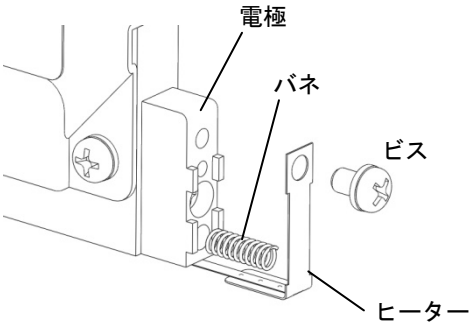
③ プリントテープを外します。

※緩めるだけでも作業は可能ですが、その際にプリントテープが痛まないように注意してください。

④ センタードライテープを剥がして、ヒーターが見える状態にします。



ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。



⚠ 警告　ビスを紛失した場合、Ｍ３×６より長いビスを代用しないでください。指定サイズより長いビスを使用するとシールバーと接触してショートする危険性があります。

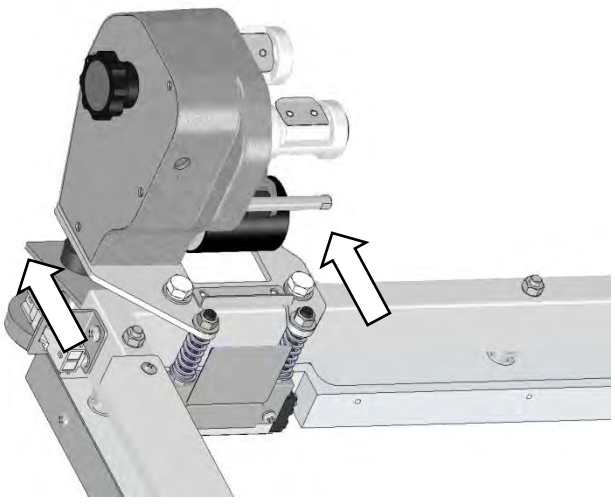
⚠ 注意　ビスを外す際に内部のバネがなくならないように注意してください。

⚠ 注意　ヒーター交換時はシールバーのガラステープ、サーコンシートの損傷状態も確認し、必要に応じて交換してください。損傷が激しい場合、ヒーターとシールバーが接触し、ショートする危険性があります。

⑤ ヒーター端子のビスを外して、損傷したヒーターを取り外します。

⑥ 新しいヒーターを取付け、センタードライテープを貼り付けます。

⑦ プリントテープを元の位置に戻し、タブシールユニットを外したときと逆の要領で取り付けます。
※タブシールユニットを手前側に寄せて取り付けてください。



8-7 温度センサーの交換

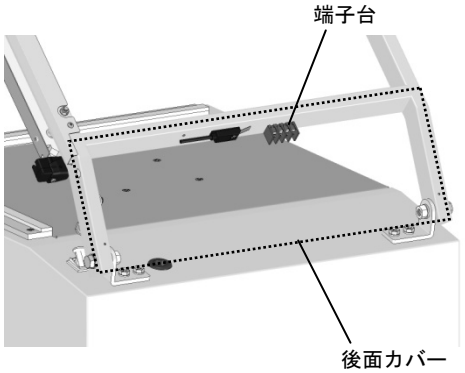
【必要な工具】プラスドライバー

【交換の目安】温度センサーの破損

※温度センサーは単品販売しています。

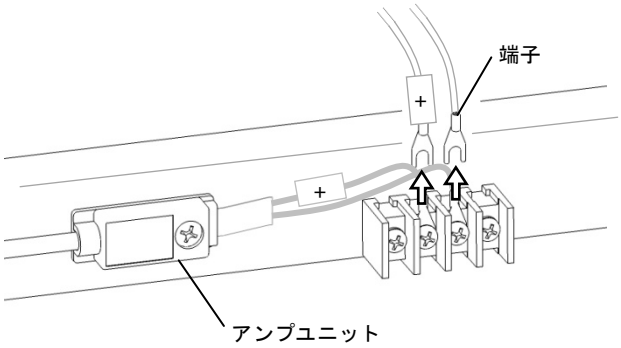
温度センサーはＬ型シールの側面に取り付けてあります。

① レバーの後部にあるカバーを外して、レバー後部にある端子台から温度センサーのセンサーユニットの端子を外します。

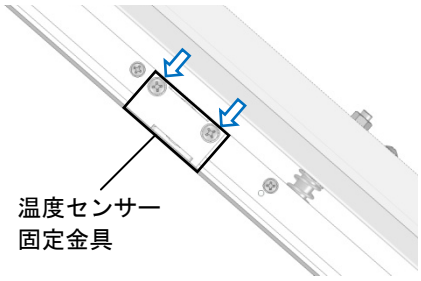


⚠ 注意

温度センサーアンプユニットの端子は外さないでください。

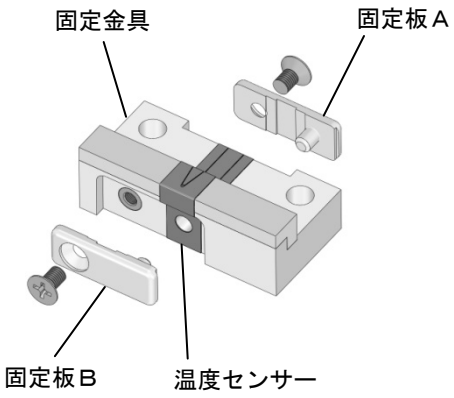


② レバー側面のカバーを外して、温度センサー取付金具を外します。

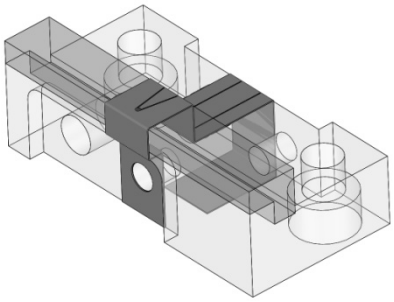


③ ビスを外し、固定板を外して取付金具から交換する温度センサーを取り外します。

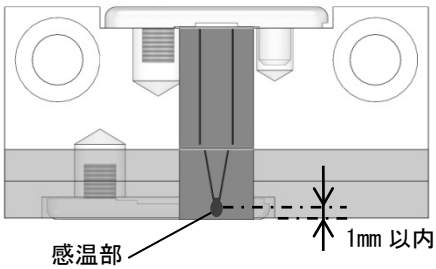
温度センサーの構造は、右イラストのような部品構成になっています。



④ 新しい温度センサーを取付金具の取付面に沿わせて取り付けます。



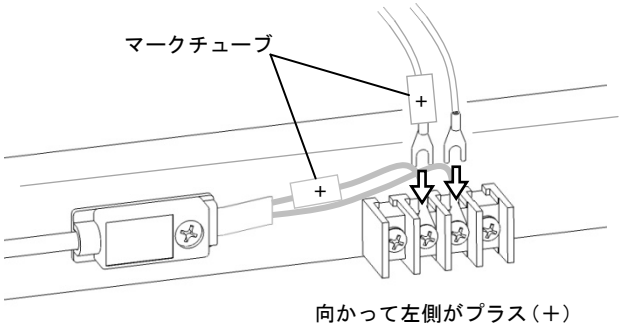
⚠ 注意 感温部の位置が右図の通り、取付金具の端から 1㎜ 以内の位置にあることを確認してください。
温度センサーの感温部が指定の位置にくるように取り付けてください。温度センサーの位置がずれたり、取り付けを忘れると製品が正常に動作しなくなります。



感温部が金具の外にはみ出さないように注意してください。

⑤ 温度センサーを外したときと逆の要領で新しい温度センサーをレバーに取り付けます。

注！ マークチューブに付いている（＋）とターミナルのシールの（＋）が同じになるように取り付けてください。



向かって左側がプラス（＋）